

松波小学校だより

第9号
令和7年12月24日
能登町立松波小学校

「挑戦と成長の2学期」

年の瀬を迎え、冬の寒さが一層身にしみる頃となりました。本日、2学期の終業式を迎え、無事に子どもたちは冬休みに入ることができました。日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜っている保護者の皆様、ならびに地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

振り返れば、2学期は子どもたちの成長が特に感じられる学期でした。まず、本校の伝統行事である相撲大会では、どの学年の児童も真剣なまなざして土俵に立ち、勝って喜び、負けて涙する姿もありましたが、気持ちを立て直し仲間の声援に応える姿に、成長を感じられました。勝敗以上に、大会を通して培われた「最後まであきらめない心」や「相手を思いやる気持ち」は、子どもたちにとって大きな財産になったこと思います。続くマラソン大会では、自分のペースを見つけながら長い距離に挑む子どもたちの頑張りが光りました。ゴールを目指して懸命に走り抜く姿、仲間を応援する声、走り終えた後の達成感に満ちた表情——どれもが2学期の思い出を鮮やかに彩ってくれました。体力面だけでなく、目標に向かって努力を積み重ねる姿勢が育ったことを、私たち教職員は誇らしく感じています。

また日々の学習の中でも、自分の考えを堂々と発表したり、友達と意見を交わしながら学びを深めたりする姿が多く見られました。学習が進むにつれて、子どもたちの表情が少しずつ頼もしくなっていくことを実感した学期でもありました。こうした成長のかけには、ご家庭での励ましや生活面での支え、地域の皆様の温かい見守りがあってこそものだと思っております。



さて明日から始まる冬休みは、子どもたちが一年を落ち着いて振り返り、新しい年を迎える準備をする大切な期間です。どうか交通安全やインターネットの使い方、戸外での遊び方、緊急時の対応(避難方法・家族が避難する場所)などをご家庭でも改めて確認していただき、安全にお過ごしくださいようお願いいたします。また、生活リズムが大きく乱れないよう見守りつつ、心と体を休める時間も十分にとっていただければと思います。

今年一年、本校の教育活動を支えていただいた多くの皆様に改めて感謝申し上げます。来年も子どもたちが安心して学べる環境づくりに、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。どうぞ良い年末年始をお過ごしください。冬休み明けに、子どもたちの元気な声と笑顔に再び会えることを楽しみにしております。

能登町立松波小学校

校長 宮本 秀人

